

第5回管理運営計画分科会 要点録

開催日時・場所	令和元年 11 月 18 日(月) 18:00~20:00 パルテノン多摩 第一会議室	
参加者・傍聴者	参加委員 7 名、傍聴者 2 名	
出席職員	文化施策担当課長、財団職員 1 名、市アドバイザー、事務局 4 名	
主な内容	開会	前回要点録の確認について
	次第 1	文化方針検討分科会における議論内容についての報告
	次第 2	組織計画について
	次第 3	収支計画・修繕計画・危機管理計画・評価について
	閉会	次回について
議題	主な意見	
前回要点録の確認	■前回の要点録について確認。分科会として承認した。	
次第 1 全体の流れについて	<p>■事務局より設置条例の検討について説明</p> <p>① 文化方針検討分科会での意見を踏まえて、今までなかった目的の条文を新たに示している。</p> <p>② 「」は引用や協調で使われているが、分からない人もいるだろうという意見があったので、引用の有無も含めて見直しが必要。</p>	
次第 2 組織計画について 市民参加のあり方について	<p>① 平成 30 年度のワークショップを終えてから、有志が集まり、何をしたいのか、必要な組織、誰に、どう呼び掛けるかを月に 1 度のペースで集まり検討している。市と指定管理者と市民でどう役割分担するかも論点の 1 つだった。管理運営計画上の考え方とこちらの想定は一致している。</p> <p>② 大上段に構えるのではなく、親しみを持って関わることを大事にする。サークル活動から広がっていくのも 1 つの方法だと思う。</p> <p>③ 藤沢市では市民オペラが行われていた。こういった動きは市と指定管理者と市民がうまく結集して大きく動く。どう関わるができるか。</p> <p>④ ゼロから企画・制作・運営するものを指す言葉としては「実施」ではなく広い意味の言葉を使うべき。</p>	
専門性について	<p>① 今後は積極的なアドバイスやコンサルティングができる機能を充実していくべき。これが出来ている館は市民活動が活発的に行われている。</p> <p>② 事前打ち合わせでいえば、事前に 1 回 1 時間だけでは時間が厳しい。事前の相談でアドバイスをもらえるとより良いものができる。</p> <p>③ 特定の音楽事業に偏っているのを改善することで、鑑賞の幅が広がる。</p> <p>④ 指定管理者の自主事業に加えて、市民の文化活動のサポートも大事。</p> <p>⑤ 文化芸術や歴史などの専門的な知識を持っていることを重視すべき。まちに関する知識を得るとか人を知るとかだけでは、専門的な知識を増やせない。</p> <p>⑥ 貸館全体の事業バランスなどを評価する機会が必要では。</p> <p>⑦ 貸館の原則は公平性で、基本的には早い者勝ちや抽選だが、なるべく柔軟な運営ができることを前提とするのが大事。</p>	
次第 3 収支計画・修繕計画・危機管理計画・評価について	<p>■危機管理計画について</p> <p>① 台風を含めて、近年様々な風水害もあり、事故等の危機管理も重要。</p> <p>② 近年問題になっている差別的発言をする団体や、合理的な配慮ができない団体には利用させないようにすることも必要ではないか。</p> <p>■評価について</p> <p>③ 評価のタイミングは非常に難しい。実務で工夫を重ねていくしかない。</p> <p>④ ある程度長期的に見ないと成果が見えてこない。毎年評価されても、短い時間で成果が出るものではない。</p> <p>⑤ 評価の期間をここでは明記しないということは、他のもので示されるのか。</p> <p>⑥ 示し方は工夫次第なので、無理にここで具体的に記載する必要はない。</p> <p>⑦ ローマ数字はなじみがないので、あまり多用しないほうがいいと思う。</p>	